

平成14年3月6日

各 位

会 社 名 高松建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 高松 孝育
(コード番号 1762 東証・大証 各第2部)
問合せ先 大阪本店 西出 雅弘
総務部長
TEL : 06 - 6307 - 8123

会 社 名 小松建設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 朴木 義雄
(コード番号 1865 東証第1部)
問合せ先 総務部長 平山 正明
TEL : 03 - 5570 - 0771

会 社 名 株式会社 青木建設
代表者名 代表取締役社長 矢野洋一郎
(コード番号 1886 東証・大証 各第1部)
問合せ先 広報部長 中野 勉
TEL : 03 - 3407 - 8525

株式会社青木建設の支援協力について

1. 支援協力について

高松建設株式会社(本社:大阪市淀川区、社長:高松孝育)及び小松建設工業株式会社(本社:東京都港区、社長:朴木義雄)の両社と、民事再生手続中の株式会社青木建設(東京本社:東京都渋谷区、社長:矢野洋一郎)は、青木建設の再建について、3社の主力銀行である株式会社あさひ銀行から支援協力の要請があり、協議を行ってまいりましたが、本日、再建支援について基本的合意を得ましたのでお知らせいたします。

なお、支援協力の詳細内容に関しましては、今後、3社で協議のうえ、決定することになりますが、青木建設の再生計画が認可・確定され、その他の諸条件が満たされることを前提としております。

2. 支援協力の理由

建設業界においては、建設市場が縮小の方向にあり、経営環境は一段と厳しさを増すとともに生き残りを図るための企業再編が避けては通れない状況となっております。

このような状況を踏まえ、高松建設、小松建設工業及び青木建設は、高松建設グループからの信用補完を基盤として、小松建設工業と青木建設それぞれが有している異なる事業・技術分野において特色を発揮することはもとより、各社が保有する地域的な強みも含め、これらを相互補完的に活用することにより、縮減傾向にある建設市場での生き残りを図ってまいります。

建設業界は、当面、規模の拡大が競争力に繋がる時代ではありません。

この度の支援協力による青木建設のグループ化は、単に売上高を伸ばすものではなく、むしろ各社合算の売上高が減少するとしても、社会に存在価値が認められるような高付加価値の分野に特化し、真に競争力のある企業グループとして発展を期すものであります。

高松建設は、首都圏 関西圏を中心とした賃貸マンション建設のリーディングカンパニーとして豊富な実績を有しております。

小松建設工業は、下水道工事 海岸土木工事や無人化土木施工等、特色ある土木工事に注力するとともに建築工事においては共同住宅を主体として全国展開を図っております。

一方、青木建設は、ダム 海洋埋立 敷地造成等の大量土岩工事をはじめ鉄道、都市土木、道路工事を得意とし、さらには、耐震補強や非破壊探査といった技術を有する、全国に営業基盤を持つ会社です。

今後は、高い収益力を持つ高松建設の経営ノウハウを導入するとともに、3社間で地域的、工種的、人的及び技術的な連携を図ることにより、経営効率の改善が期待できます。

以 上